

エコアクション21

環境経営レポート



2018年10月～2019年9月

発行日：2019年10月31日



山本松産業株式会社



1. 事業の概要

(1) 名称及び代表者名

山本松産業株式会社

代表取締役 山本 康雅

(2) 所在地

本 社 〒632-0052 奈良県天理市柳本町889-1

工 場 同 上

(3) 事業内容

企業様向け布団の製造・卸及び販売

一般のお客様向け寝装寝具の製造販売・布団のクリーニング

(4) 創 業 : 昭和32年10月31日

設 立 : 昭和62年11月12日

(5) 環境活動の範囲

事業

寝装寝具の製造・卸及び販売

範囲

全組織・全活動

(6) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

専務取締役 山本 玲子

担当者

同上

電話・ファックス

TEL:0743-67-0341 FAX:0743-67-0342

(7) 事業の規模

資本金 : 1000万円

従業員 : 10人 (正社員4人 パート6人)

工場敷地面積:1153.7m² 建床面積:870.98m²

(8) 事業年度

10月～翌年9月



YAMAMOTOMATSU

Bedding making & cleaning

2. 環境経営方針

【当社の理念】

当社は、快眠布団を普及する事で、多くの方の健康に寄与し、布団のリフォームというリサイクルシステムにより、環境への取り組みをします。地球温暖化の防止においては、資源循環型企業を目指し、社会のニーズに的確に対応します。

企業の社会的責任(CSR活動)においては、事業活動を通して持続可能な社会の実現に貢献します。

以上のことから、環境省が定めるエコアクション21(環境マネジメントシステム)を環境活動として実践、継続的な取り組みを実施します。社員一同が誇りを持って社会にお役に立つ環境経営を実行し、環境負荷の低減と汚染の予防を図り下記のように環境方針を定めます。

【環境経営方針】

1・エコアクション21に基づき、環境関連の法令、条例等の規制事項を遵守し、地域や顧客の環境関連要求に配慮して、環境活動の継続的な改善を図ります。地域貢献については、環境経営システムを取り入れ計画的に実施します。

2・5つの目標及び計画を実施します。

- ① 廃棄物の減量化と分別によるリサイクルに努めます。
- ② 電力使用量の削減と運搬車両等の燃料削減に努めます。
- ③ 用水の使用料削減に努めます。
- ④ グリーン購入を推進します。
- ⑤ 顧客等から環境協力が得られるよう、サービスの提供に努めます。

3. 環境コミュニケーションを通じて、環境活動の状況を内外に伝達します。

4. 全従業員に、環境経営方針を周知します。

5・4Rを推奨します。

- Refuse 不要なもの余計なものはいりません。
- Reduce ゴミを減らす。
- Reuse まだ使えるものは繰り返し使う。
- Recycle 資源としてまた利用する。

6. 環境への取り組みを適切に実行する為の人員、経営資源を準備します。

2018年10月1日

山本松産業株式会社

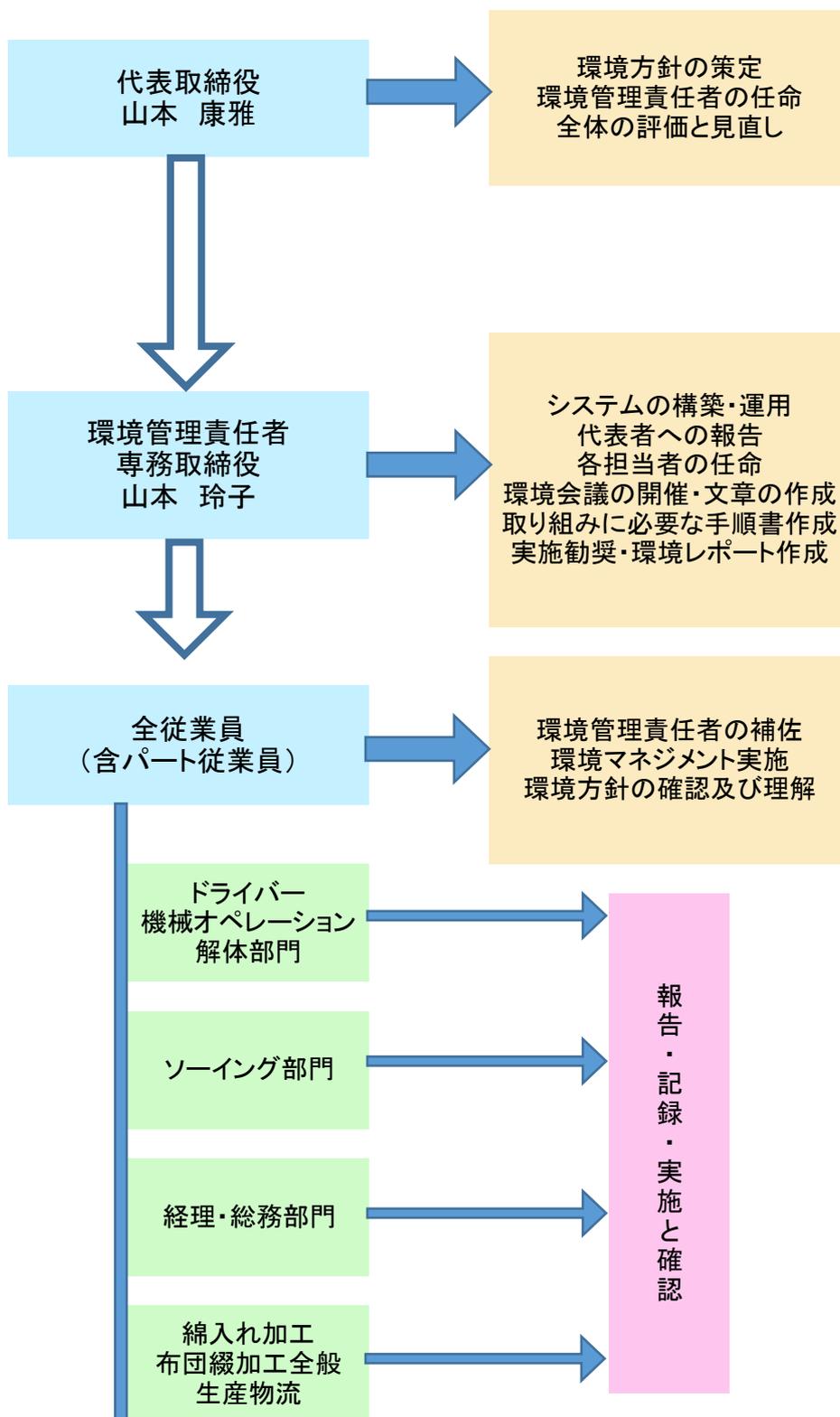
代表取締役 山本 康雅



3. 組織

エコアクション21の取組体制

役割・責任・権限



4. 主な環境負荷の実績

項目	単位	30期 2016年10月 ～ 2017年9 月迄	31期 2017年10月 2018年9月迄	32期 2018年10月 ～2019年9月 迄
		(基準年度)	実績	実績
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO ₂	31,362	35,588	33,150
一般廃棄物排出量	Kg	8,190	7,020	7,930
※総排水量	m ³	131	74	108
リサイクル布団	枚	71,106	68,261	70,128

※30期は、2016年10月から2017年9月です。

電力の二酸化炭素排出係数は、関電の調整後0,493です。

※総排水量については、30期(2016年10月～2017年9月)は水漏れの為、29期(2015年10月～2016年9月)の水量を基準にした。

5. 環境目標及びその実績

↓ 四半期から全期に変更(目標値も修正)

	単位	30期 2016年10月 ～ 2017年9 月迄	31期 2017年10月～2018年9月迄		32期 2018年10月～2019年9月迄		33期 2019年10月～ 2020年9月迄
		(基準年度)	削減率 (目標)	(実績)	削減率 (目標)	(実績)	削減率 (目標)
CO ₂ 排出量の削減	kWh	40,906	1.0%	-18.5%	2.0%	-20.4%	3.0%
			40,497	47,974	40,088	48,250	39,679
			1,690	1,673	2,061	1,656	1,902
ガソリンの削減	L	1,690	1.0%	-23.2%	2.0%	-14.8%	3.0%
			1,884	1,865	1,981	1,846	1,918
軽油の削減	L	1,884	1.0%	-6.2%	2.0%	-3.9%	3.0%
			1,865	1,981	1,846	1,918	1,827
CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	31,362	31,048	35,588	30,735	33,150	30,421
一般廃棄物の削減	kg	8,190	1.0%	13.4%	2.0%	1.2%	3.0%
			8,108	7,020	8,026	7,930	7,944
※水道水の削減	m ³	131	1.0%	43.1%	2.0%	15.9%	3.0%
			130	74	128	108	127
リサイクル布団の促進 (販売促進で増加)	枚	71,106	2.0%	-5.9%	4.0%	-5.2%	6.0%
			72,528	68,261	73,950	70,128	75,372
リサイクル品寄贈 地域清掃活動	回	これから 実態把握	1	2	1	4	1
			1	3	1	2	1

※CO₂排出係数は、2016年度の関西電力の調整後排出係数0.493kg-CO₂/kWhを使用しています。

※化学物質 (PRTR法対象物質) は使用しておりません。

数値目標は設定せず、定性的取り組みとして「適正管理」としています。

- + 良い達成
- 悪い未達成

6. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価 <<32期:2018年10月~2019年9月>>

項目	取組内容	削減率	取組評価	結果の評価・今後の方向性	次年度取組	
CO2量の削減	電力の削減 目標 40,088kwh 実績 48,250kwh	1.不要時の消灯 2.エアコン管理の徹底 3.ブラインド等の有効利用	-20.4%	△	・目標未達成 ・労働環境改善でエアコンの強化 ・来期は目標の見直しを検討	同左
	ガソリンの削減 目標 1,656L 実績 1,902L	1.車両の点検整備の徹底 2.走行距離の低減 3.エコドライブの徹底	-14.8%	△	・集配拠点の有効利用を進める	同左
	軽油の削減 目標 1,846L 実績 1,918L	1.車両の点検整備の徹底 2.走行距離の低減 3.エコドライブの徹底	-3.9%	△	・集配拠点の有効利用を進める	同左
一般廃棄物の削減 目標 8,026kg 実績 7,930kg	1.ゴミ分別の徹底 2.無駄をなくす 3.繰り返し使用する	1.2%	◎	・目標達成 ・分別リサイクルを強化する	同左	
水道水の削減 目標 128m ³ 実績 108m ³	1.手洗い時の節水の徹底 2.トイレの二度流し防止	15.9%	◎	・目標達成 ・漏水の防止	同左	
リサイクル布団の促進 (販売促進で増加) 目標 73,950枚 実績 70,128枚	1.リサイクル布団の販売促進 2.リサイクル布団の品質向上	-5.2%	△	・目標未達成 ・注文変動が大きいので、通年での目標達成につとめる	同左	
リサイクル品の寄贈 目標 1 実績 4	1.地域貢献活動として実施		◎	・引き続き貢献活動を推奨する	同左	
地域清掃活動 目標 1 実績 2	1.地域貢献活動として実施		◎	・引き続き貢献活動を推奨する	同左	

注) 化学物質は使用していないため、取り組みはしていない。
 大変よくできた◎ よくできた○ ほぼできている△ できなかった×

布団のリフォームで「子供たちの命を救う」



人と地球に優しい環境

布団 1枚で栄養治療食.....
 はしかの予防接種.....



皆様より頂戴した一般のお客様向けリフォーム商品の売上金1%を「認定NPO法人」を通して寄付させて頂いております。

7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規等

	法律、条例名	遵守すべき事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	・一般廃棄物及び産業廃棄物の表示と分別管理 ・一般廃棄物処理業者は市町村長の許可の確認	遵法
2	騒音規制法	・騒音規制基準の遵守 ・対象特定施設の届出	遵法
3	消防法	・消防用設備等の点検・報告 ・火災報知機・屋内消火栓の設置	遵法
4	資源リサイクル法	・基本理念と事業者の責務	遵法
5	フロン排出抑制法	・適切な運転管理での漏えい防止	遵法

(2) 違反・訴訟等の有無

- ・自社の事業活動に関する法令違反はありません。
- ・関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間なく、訴訟もありません。

8. 総括(代表者による全体の評価と見直し)

電力使用量及びガソリン・軽油については、作業量が増えたため目標達成できなかった。
廃棄物排出量及び水道水の削減については、従業員の取り組みがしっかりしてくれていたため達成できました。

今後共、社内への意識づけを継続し、環境保全の向上に貢献できるよう努めてまいります。

※ 次回環境活動レポートの発行は、2020年12月の予定です。

9. 地域等の環境活動の一例

リサイクル綿と余った生地を活用して、
無人駅に座布団を配置



目標・行動・計画発表



大阪北部地震災害豪雨 支援チャリティーバザー



地域清掃活動



消火訓練の実施

